

2011年（平成23年）  
7月24日アナログ放送は終了  
します

2011年の7月24日、アナログ放送終了まで9か月あまりになってきました。

周防大島町では地上デジタル放送が映らない「新たな難視聴地区」が33か所910世帯（8月10日現在）で県内最多となっています。

山口地上デジタル放送推進協議会と町では、新たな難視聴地区に対して共同アンテナ整備による難視聴対策を推進してきました。しかし、高齢化により共同アンテナ整備のための組合の設立や今後の設備の維持管理が困難な地区がたくさんあり、共同アンテナによる地デジ化が進まない現状でした。

山口県内の自治体では地形等から考えて、当町よりも電波状況が悪いと思われる箇所でも地デジ化が進んでいます。その理由はその地区にケーブルテレビ網が整備されており、電波に頼らずケーブルに繋ぐだけで、地デジ放送を見ることができからです。またこのような地区では既に共同アンテナの地デジ化が完了しているにもかかわらずケーブルテレビに移行し

# ケーブルテレビ

## シリーズ①



・地上デジタル放送のほかBSやCS放送など多チャンネル放送（別料金）

た例も多いと聞いています。これも高齢化により施設の維持管理が地区の大きな負担になっているためだと言われています。

### ケーブルテレビ網の整備

合併時の計画では住民の安全確保を最優先して防災行政無線の整備した後に、一定の期間において、情報基盤整備を行う予定にしていたが、本町の「新たな難視聴区域」解消のためにケーブルテレビが非常に有効であることから、計画を前倒しをして、地域情報基盤整備と併せてケーブルテレビ網の整備を行う事になりました。

今後、町内の「新たな難視聴区域」に新たな選択肢としてケーブルテレビへの移行を提案していきます。共同アンテナ整備とケーブルテレビへの加入にかかる費用は、国やNHKからの助成により大差がなく、月々の必要な費用についてもケーブルテレビには「新たな難視聴区域」のための特別料金が設定されているためほぼ同額になります。